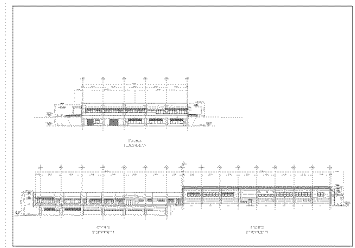


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 灘手工業用地賃工場建設工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 鳥取県倉吉市 谷 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 都市計画区域外 | 平均居住人員 | 100 人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 1,560 時間/年 |
| 建物用途 | 事務所,工場, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年12月 予定 | 評価の実施日 | 2014年9月22日 |
| 敷地面積 | 20,902 m ² | 作成者 | 株式会社森田設計 |
| 建築面積 | 7,943 m ² | 確認日 | 2014年9月22日 |
| 延床面積 | 10,706 m ² | 確認者 | 株式会社森田設計 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

| | |
|----------|------|
| ①参照値 | 100% |
| ②建築物の取組み | 92% |
| ③上記+②以外の | 92% |
| ④上記+ | 92% |

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|--|--|---|
| 総合 高効率設備の導入により、節電に努めている。 | | 0 |
| Q1 室内環境 全館禁煙である。 | Q2 サービス性能 事務室の天井高は2.7m以上である。給水管(HIVP・VP)・排水管(VP)→B・給湯管(SUS)→Cである。階高は3.9m以上である。壁長さ比率0.055である。積載荷重は、床6000N/m ² ・地震2000N/m ² である。 | Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。空地率60%以上である。 |
| LR1 エネルギー 自動水栓により、節電に努めている。LED照明を採用している。 | LR2 資源・マテリアル LGS下地材・GL工法・OAフロアを使用している。中水利用をしている。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ =92%である。適切な量の駐車スペースの確保をしている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される